

新庁舎建設を問う

質問者 高水永雄

昭和35年に建設された旧庁舎A棟が耐震強度不足との調査結果により、緊急に仮庁舎が建設され、解体されている。これは、最悪の事態を想定しての決断であり評価するものである。しかし一方で、現在進めている新庁舎建設計画には、最悪の事態を想定した地盤調査の見解が不十分であり、最適地としての住民理解も得られているとは認められない。将来に禍根を残さぬよう、安全性や機能性等さらなる調査が必要と考え町長の所見を伺う。